



平成17年 3月期 中間決算短信(非連結)

会社名 東京鋼鐵株式会社
コード番号 5448

登録銘柄
本社所在都道府県 東京都

平成16年11月11日

(URL <http://www.kohtetsu.jp/>)

代表者役職名 取締役 社長
氏名 平嶋 俊祐

問合せ先 責任者役職名 取締役 経理部長
氏名 新野 善行

TEL(0285)21-0512

中間決算取締役会開催日 平成16年11月11日

中間配当制度の有無 有

中間配当支払開始日 平成 - 年 - 月 - 日

単元株制度採用の有無 有(1単元 1,000株)

1. 16年 9月中間期の業績(平成16年 4月 1日~平成16年 9月30日)

(1) 経営成績

金額表示:百万円未満切捨

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|----------|--------|--------|-------|---------|-------|---------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 16年9月中間期 | 7,602 | (56.0) | 1,762 | (295.2) | 1,730 | (330.6) |
| 15年9月中間期 | 4,872 | (12.0) | 446 | (70.6) | 401 | (95.5) |
| 16年3月期 | 10,922 | | 1,105 | | 1,025 | |

| | 中間(当期)純利益 | | 1株当たり中間 (当期)純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり中間(当期)純利益 |
|----------|-----------|---------|--------------------|---------------------------|
| | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 16年9月中間期 | 1,571 | (323.7) | 90.13 | - |
| 15年9月中間期 | 370 | (110.1) | 21.26 | - |
| 16年3月期 | 960 | | 55.07 | - |

- (注) 1. 持分法投資損益 16年9月中間期 - 百万円 15年9月中間期 - 百万円 16年3月期 - 百万円
2. 期中平均株式数 16年9月中間期 17,435,190株 15年9月中間期 17,441,213株 16年3月期 17,440,933株
3. 会計処理の方法の変更 有
4. 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 配当状況

| | 1株当たり 中間配当金 | 1株当たり 年間配当金 |
|----------|----------------|----------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 16年9月中間期 | 0.00 | |
| 15年9月中間期 | 0.00 | |
| 16年3月期 | | 0.00 |

(注) 16年9月中間配当金の内訳
記念配当 0円00銭
特別配当 0円00銭

(3) 財政状態

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|----------|--------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 16年9月中間期 | 13,943 | 4,340 | 31.1 | 248.94 |
| 15年9月中間期 | 12,483 | 2,182 | 17.5 | 125.11 |
| 16年3月期 | 13,463 | 2,774 | 20.6 | 159.09 |

- (注) 1. 期末発行済株式数 16年9月中間期 17,434,100株 15年9月中間期 17,440,918株 16年3月期 17,440,018株
2. 期末自己株式数 16年9月中間期 11,900株 15年9月中間期 5,082株 16年3月期 5,982株

(4) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 16年9月中間期 | 1,718 | 177 | 1,123 | 690 |
| 15年9月中間期 | 580 | 289 | 310 | 270 |
| 16年3月期 | 1,340 | 249 | 1,106 | 273 |

2. 17年3月期の業績予想(平成16年 4月 1日~平成17年 3月31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり年間配当金 | |
|-----|--------|-------|-------|------------|------|
| | | | | 期末 | 円 銭 |
| 通 期 | 14,940 | 2,550 | 2,350 | 0.00 | 0.00 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 134円79銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

企業集団の状況

当社を中心とする企業集団は、当社（電気炉製鋼によるピレットと圧延鋼材の製造・販売、溝形鋼の仕入・販売）、子会社（100%出資の（株）コーテツ起業）1社、その他関係会社（当社株式29.19%保有の三井物産（株））1社があります。

経営方針

1) 経営の基本方針

当社は、環境保全を重視しながら鉄鋼資源の効率的再生システムを極め、高品質追求と納期管理の徹底による顧客満足を高める事を通じて、経済の発展と国民生活の向上に貢献いたします。

2) 利益配分に関する基本方針

当社の配当基本方針は、収益に応じた配当を目標といたしております。同時に当社の属する普通鋼電炉業界は装置産業であると共に振幅の大きい市況産業でもあるため、最適操業のための設備更新は不可欠であり、業績の大きな振幅に堪えつつ、企業体質強化並びに将来の事業活動基盤整備の必要性から、状況が許す限り内部留保の充実を図ることも重要との認識に立っております。

3) 中期的な会社の経営戦略と会社の対処すべき課題

近年、素材の多様化が顕著ではありますが、建築・土木の基礎資材である鋼材の地位は揺るぎ無いものである点は衆目の一致する所であります。しかしながら、需要動向の変化を捉えながら需給バランスを取り安定操業、安定販売に努めていかなければなりません。

当社は、主力の山形鋼及び半製品であるピレットの製造・販売とともに、溝形鋼は購入・販売とし効率的経営を絶えず追求いたしております。また、最適生産量を追求しながらコスト・ダウンに努めることは勿論、販売基盤の拡充は製造業にとり最重要課題であり、更に利益体質を継続しながら債務の圧縮を図るなど、財務体質の強化に取り組んでおります。

4) 目標とする経営指標

変化の激しい普通鋼電炉業界は、近年ますます海外要因も加わり舵取りが難しくなっております。当社はその中であって、製造・販売に亘り市況等に機敏に対応すると共にバランスをとりながら運営し、売上高経常利益率等を高めこれまで以上に効率的経営に努めてまいります。

5) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、迅速かつ正確な情報把握と意思決定が重要との認識に立ち、少人数（5名、うち社外取締役1名）の取締役によるオープンな運営を行っております。なお、社外取締役1名は、当社の「その他関係会社、三井物産株」から招聘しております。また、法令遵守の重要性が増している状況に鑑み、役員・社員行動規範を定め高い企業倫理を保つことに努めております。さらに、情報開示の即時化に

も努めております。

コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況

取締役会は、経営方針、法令で定められた事項及びその他経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行状況を監督する機関と位置付け、役員懇談会を含めほぼ毎月2回開催しております。

監査役(3名、うち社外監査役2名)は、監査役会が定めた監査方針に従い取締役会や主要な会議に出席し、取締役の業務の執行状況を監査しております。なお、社外監査役1名は、当社の「その他関係会社、三井物産株」から招聘し、他の1名の社外監査役は、人的関係はありませんが当社株式を1,100株保有しております。また、会計監査の適正さを確保するため、監査役会及び取締役会は、会計監査人から商法特例法、証券取引法に基づく会計監査の報告を受けております。

6) 関連当事者との関係に関する基本方針

当社は、永年にわたり三井物産(株)の関係会社として、製品販売・原料購入等の取引をはじめ、人的関係を築いてまいりました。今後も同社の鉄鋼事業分野における普通鋼電炉業との取引の中心的存在として努めてまいります。

経営成績及び財政状態

1) 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、世界的な素材産業の活況で始まりましたが、中国の引き締め政策の影響により景気のスピードが若干低下しました。しかしながら個人消費にも明るさが見えるなど比較的堅調に推移いたしました。

当社の属する普通鋼電炉業界におきましては、公共事業は相変わらず低調のままでしたが、民間設備投資、自動車、造船をはじめとする産業は活気を取り戻し鋼材需要は底堅いものがあります。

当社といたしましては、このような環境下、主・副原材料の乱高下が顕著になり不安定感も抱えながら、形鋼専業メーカーとして山形鋼、溝形鋼の販売努力はもとより、需要に見合った生産により価格重視の販売を粘り強く推進し、生産面におきましては地道なコスト改善を行って参りました。

当中間期の業績につきましては、鋼材需要が伸び悩む中、昨年7月の(株)石原製鋼所からの営業権譲り受けによる販売量の増加及び需要に見合った生産・販売による価格の改善に努め、売上高は7,602百万円(前年同期実績4,872百万円)と前中間期と比較して大幅に増加いたしました。鉄スクラップをはじめとする製鋼原料価格が前中間期に比較し大幅に上昇しましたものの、それを上回る販売価格の改善、コスト・ダウン努力により、経常利益は1,730百万円(前年同期実績401百万円)、投資有価証券の売却益3百万円、固定資産除却損30百万円、遊休地の減損損失139百万円等を加減し、中間純利益は1,571百万円(前年同期実績370百万円)となり大幅な増益を達成いたしました。

以上のように業績は飛躍的に改善して参りましたが、いまだ多額の未処理損失を抱えておりますので誠に遺憾ながら当中間期の配当金につきましては無配継続とさせて頂きたいと存じます。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間純利益に減価償却費を加えた金額に、売上債権の増加384百万円、たな卸資産の減少83百万円、仕入債務の減少79百万円等を加味し1,718百万円の増加(前年同期実績580百万円の増加)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により177百万円の減少(前年同期実績289百万円の減少)となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済により1,123百万円の減少(前年同期実績310百万円の減少)となりました。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は690百万円と前期末に比べ417百万円の増加となりました。

2) 通期の見通し

今後の見通しにつきましては、わが国経済は好調な輸出や民間設備投資により、当分堅調な状況は続くと思われませんが、原油価格の高騰や為替の変動による経済活動への影響が懸念されます。

また、普通鋼電炉業界におきましては、建築をはじめとする各種鋼材需要は、低水準ながら堅調に推移するものと思われれます。一方、鉄スクラップ価格の乱高下、副原料の高騰等が顕在化するなど不透明感も払拭できない状況であります。

当社といたしましては、このような状況のもと、需要に見合った生産を継続し、品質、生産性、歩留の向上を図り競争力の強化に取り組んでまいります。さらに、製品販売価格の維持・改善に注力し、活発な営業活動により顧客の信頼と満足を得て販売基盤の強化を図ると共に、環境変化には迅速に対応しつつ業績の向上に努め、財務の健全化と早期の復配を目指し一層効率的な経営を行ってまいり所存であります。

中間貸借対照表

(単位:千円、単位未満切捨て)

| 区 分 | 前中間会計期間末 (平成15年9月30日現在) | | 当中間会計期間末 (平成16年9月30日現在) | | 前事業年度要約貸借対照表 (平成16年3月31日現在) | |
|---------------|----------------------------|-------|----------------------------|-------|--------------------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 |
| (資産の部) | | % | | % | | % |
| 流動資産 | | | | | | |
| 現金及び預金 | 295,568 | | 715,926 | | 298,892 | |
| 受取手形 | 514,937 | | 1,146,797 | | 946,438 | |
| 売掛金 | 725,261 | | 1,386,528 | | 1,202,411 | |
| たな卸資産 | 904,540 | | 1,295,002 | | 1,378,376 | |
| その他 | 39,063 | | 35,299 | | 14,037 | |
| 流動資産合計 | 2,479,371 | 19.9 | 4,579,553 | 32.8 | 3,840,155 | 28.5 |
| 固定資産 | | | | | | |
| 有形固定資産 | | | | | | |
| 建物 | 1,257,059 | | 1,207,207 | | 1,227,332 | |
| 機械及び装置 | 3,393,280 | | 3,017,513 | | 3,163,552 | |
| 土地 | 4,769,412 | | 4,592,562 | | 4,732,212 | |
| その他 | 295,700 | | 353,178 | | 298,438 | |
| 有形固定資産合計 | 9,715,453 | 77.8 | 9,170,463 | 65.8 | 9,421,537 | 70.0 |
| 無形固定資産 | 80,749 | 0.6 | 25,214 | 0.2 | 10,361 | 0.1 |
| 投資その他の資産 | 207,449 | 1.7 | 167,905 | 1.2 | 191,824 | 1.4 |
| 固定資産合計 | 10,003,652 | 80.1 | 9,363,583 | 67.2 | 9,623,723 | 71.5 |
| 資産合計 | 12,483,024 | 100.0 | 13,943,137 | 100.0 | 13,463,879 | 100.0 |

(単位:千円、単位未満切捨て)

| 区 分 | 前中間会計期間末 (平成15年9月30日現在) | | 当中間会計期間末 (平成16年9月30日現在) | | 前事業年度要約貸借対照表 (平成16年3月31日現在) | |
|---------------|----------------------------|-------|----------------------------|-------|--------------------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 |
| (負債の部) | | % | | % | | % |
| 流動負債 | | | | | | |
| 支払手形 | 622,920 | | 923,246 | | 865,534 | |
| 買掛金 | 1,679,624 | | 2,462,341 | | 2,554,342 | |
| 短期借入金 | 3,669,014 | | 2,268,516 | | 3,198,700 | |
| 未払金 | 477,054 | | 602,529 | | 508,264 | |
| 未払法人税等 | 2,805 | | 17,383 | | 5,610 | |
| 賞与引当金 | 76,242 | | 100,469 | | 99,988 | |
| その他 | 149,204 | | 146,175 | | 185,314 | |
| 流動負債合計 | 6,676,866 | 53.5 | 6,520,662 | 46.8 | 7,417,754 | 55.1 |
| 固定負債 | | | | | | |
| 長期借入金 | 2,002,848 | | 1,485,198 | | 1,676,700 | |
| 退職給付引当金 | 104,233 | | 104,703 | | 90,603 | |
| 繰延税金負債 | 420 | | - | | 2,491 | |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,516,643 | | 1,492,541 | | 1,501,763 | |
| 固定負債合計 | 3,624,145 | 29.0 | 3,082,442 | 22.1 | 3,271,557 | 24.3 |
| 負債合計 | 10,301,012 | 82.5 | 9,603,105 | 68.9 | 10,689,312 | 79.4 |
| (資本の部) | | | | | | |
| 資本金 | 2,453,000 | 19.7 | 2,453,000 | 17.6 | 2,453,000 | 18.2 |
| 資本剰余金 | | | | | | |
| 資本準備金 | 2,820,000 | 22.6 | 2,820,000 | 20.2 | 2,820,000 | 21.0 |
| 資本剰余金合計 | 2,820,000 | 22.6 | 2,820,000 | 20.2 | 2,820,000 | 21.0 |
| 利益剰余金 | | | | | | |
| 利益準備金 | 119,161 | 0.9 | 119,161 | 0.9 | 119,161 | 0.9 |
| 中間(当期)未処理損失 | 5,485,492 | 43.9 | 3,288,337 | 23.6 | 4,873,579 | 36.2 |
| 利益剰余金合計 | 5,366,330 | 43.0 | 3,169,175 | 22.7 | 4,754,418 | 35.3 |
| 土地再評価差額金 | 2,274,964 | 18.2 | 2,238,812 | 16.0 | 2,252,644 | 16.7 |
| その他有価証券評価差額金 | 630 | 0.0 | - | 0.0 | 3,737 | 0.0 |
| 自己株式 | 252 | 0.0 | 2,604 | 0.0 | 397 | 0.0 |
| 資本合計 | 2,182,011 | 17.5 | 4,340,031 | 31.1 | 2,774,566 | 20.6 |
| 負債及び資本合計 | 12,483,024 | 100.0 | 13,943,137 | 100.0 | 13,463,879 | 100.0 |

中間損益計算書

(単位:千円、単位未満切捨て)

| 区 分 | 前中間会計期間 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年9月30日〕 | | 当中間会計期間 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年9月30日〕 | | 前事業年度要約損益計算書 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕 | |
|--------------|--|-------|--|-------|---|-------|
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 |
| | | % | | % | | % |
| 売 上 高 | 4,872,301 | 100.0 | 7,602,655 | 100.0 | 10,922,914 | 100.0 |
| 売 上 原 価 | 4,003,343 | 82.2 | 5,319,581 | 70.0 | 8,847,386 | 81.0 |
| 売 上 総 利 益 | 868,957 | 17.8 | 2,283,073 | 30.0 | 2,075,527 | 19.0 |
| 販売費及び一般管理費 | 422,886 | 8.7 | 520,146 | 6.8 | 970,027 | 8.9 |
| 営 業 利 益 | 446,070 | 9.2 | 1,762,927 | 23.2 | 1,105,499 | 10.1 |
| 営 業 外 収 益 | 8,122 | 0.2 | 5,634 | 0.1 | 15,403 | 0.2 |
| 営 業 外 費 用 | 52,220 | 1.1 | 37,679 | 0.5 | 95,466 | 0.9 |
| 経 常 利 益 | 401,972 | 8.3 | 1,730,881 | 22.8 | 1,025,436 | 9.4 |
| 特 別 利 益 | 7,073 | 0.1 | 3,779 | 0.0 | 61,978 | 0.5 |
| 特 別 損 失 | 35,404 | 0.7 | 169,667 | 2.2 | 136,254 | 1.2 |
| 税引前中間(当期)純利益 | 373,642 | 7.7 | 1,564,993 | 20.6 | 951,160 | 8.7 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,805 | 0.1 | 2,805 | 0.0 | 5,610 | 0.0 |
| 法人税等調整額 | - | 0.0 | 9,221 | 0.1 | 14,880 | 0.1 |
| 中間(当期)純利益 | 370,837 | 7.6 | 1,571,410 | 20.7 | 960,430 | 8.8 |
| 土地再評価差額金取崩額 | - | | 13,832 | | 22,320 | |
| 前期繰越損失 | 5,856,329 | | 4,873,579 | | 5,856,329 | |
| 中間(当期)未処理損失 | 5,485,492 | | 3,288,337 | | 4,873,579 | |

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円、単位未満切捨て)

| 区 分 | 前中間会計期間 | 当期中間会計期間 | 前事業年度 |
|----------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年9月30日〕 | 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年9月30日〕 | 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕 |
| | 金 額 | 金 額 | 金 額 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 税引前中間(当期)純利益 | 373,642 | 1,564,993 | 951,160 |
| 減価償却費 | 344,310 | 304,933 | 723,071 |
| 賞与引当金の増加額 (は減少額) | 2,475 | 481 | 21,271 |
| 貸倒引当金の減少額 | 252 | - | 252 |
| 退職給付引当金の増加額 | 14,094 | 14,100 | 463 |
| 受取利息及び配当金 | 501 | 453 | 621 |
| 支払利息 | 42,170 | 28,596 | 79,837 |
| 固定資産売却損 | 18,867 | 30,017 | 49,867 |
| 固定資産売却益 | - | - | 59,520 |
| 土地評価損失 | - | - | 37,200 |
| 減損損失 | - | 139,650 | - |
| 投資有価証券売却益 | 1,351 | 3,779 | 2,205 |
| 投資有価証券売却損 | - | - | 4,400 |
| 会員権評価損 | - | - | 28,249 |
| 売上債権の増加額 | 173,229 | 384,475 | 1,081,879 |
| たな卸資産の減少額 (は増加額) | 32,432 | 83,375 | 441,402 |
| その他の資産の減少額 (は増加額) | 27,833 | 4,672 | 14,087 |
| 仕入債務の増加額 (は減少額) | 160,461 | 79,840 | 1,057,876 |
| 未払消費税等の増加額 | 33,537 | 44,321 | 43,131 |
| その他の負債の増加額 | 71,398 | 16,029 | 708 |
| 小 計 | 620,015 | 1,753,277 | 1,425,444 |
| 利息及び配当金の受取額 | 501 | 454 | 621 |
| 利息の支払額 | 34,669 | 29,976 | 79,633 |
| 法人税等の支払額 | 5,610 | 5,610 | 5,610 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 580,237 | 1,718,144 | 1,340,822 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 定期預金の預入れによる支出 | 25,000 | 30,000 | 595,000 |
| 定期預金の払戻しによる収入 | - | 30,000 | 570,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 182,148 | 184,718 | 226,390 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | - | 59,520 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 100,000 | - | 101,840 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 16,401 | 13,272 | 16,905 |
| 貸付の回収による収入 | 1,430 | 1,430 | 1,430 |
| その他投資の取得による支出 | - | 7,200 | 19,033 |
| その他投資の取崩による収入 | - | - | 44,439 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 289,317 | 177,217 | 249,969 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 短期借入れによる収入 | 9,400,487 | 9,559,554 | 19,239,869 |
| 短期借入金の返済による支出 | 10,615,170 | 10,490,009 | 20,950,038 |
| 長期借入れによる収入 | 1,230,000 | 200,000 | 1,490,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 325,584 | 391,230 | 886,560 |
| 自己株式の取得による支出 | 49 | 2,207 | 194 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 310,316 | 1,123,893 | 1,106,923 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 19,396 | 417,034 | 16,071 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 289,964 | 273,892 | 289,964 |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 270,568 | 690,926 | 273,892 |

中間財務諸表作成の基本となる事項

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
 - 子会社株式
移動平均法による原価法を採用しております。
 - その他有価証券
時価のないもの
移動平均法による原価法を採用しております。
2. たな卸資産の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法を採用しております。
3. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産
定額法を採用しております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。
 - (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
4. 引当金の計上基準
 - (1) 賞与引当金
従業員に対する賞与の支払いに充てるため、賞与支給見込額のうち当中間会計期間負担額を計上しております。
 - (2) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間において発生していると認められる額を計上しております。なお、会計基準変更時差異(422,700千円)については15年による按分額を費用処理しております。
5. リース取引の処理方法
リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
6. 中間キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
手許現金、要求払預金及び取得日から3か月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。
7. 消費税等の処理方法
税抜き方式を採用しております。

会計処理の方法の変更

- (固定資産の減損に係る会計基準)
- 固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日)が平成16年3月31日に終了する事業年度に係る財務諸表から適用できることになったことに伴い、当中間会計期間から同会計基準及び同適用指針を適用しております。これにより税引前中間純利益は139百万円減少しております。なお、減損損失累計額については、改正後の中間財務諸表等規則に基づき各資産の金額から直接控除しております。

貸借対照表の注記

| | 平成15年9月中間期 | 平成16年9月中間期 | 平成16年3月期 |
|--|--------------|--------------|--------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 11,456,548千円 | 11,749,898千円 | 11,596,057千円 |
| 2. 担保に供している資産 受取手形 | 203,042千円 | 230,000千円 | 100,000千円 |
| 有形固定資産 | 9,393,621千円 | 8,802,707千円 | 9,182,527千円 |
| 3. 受取手形割引高 | -千円 | 200,000千円 | 100,000千円 |
| 4. 保証債務 | | | |
| 銀行借入に対する保証債務 従業員（住宅資金） | 18,019千円 | 12,692千円 | 15,361千円 |
| リース契約に対する保証債務 ㈱コーテツ起業（設備資金） | 34,710千円 | 24,030千円 | 29,370千円 |
| 5. 自己株式の数 | 5,082株 | 11,900株 | 5,982株 |
| 6. 消費税等の取扱い | | | |
| 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。 | | | |

損益計算書の注記

| | 平成15年9月中間期 | 平成16年9月中間期 | 平成16年3月期 |
|---------------|------------|------------|-----------|
| 1. 営業外収益の主要項目 | | | |
| 受取利息 | 289千円 | 277千円 | 332千円 |
| 2. 営業外費用の主要項目 | | | |
| 支払利息 | 42,170千円 | 28,596千円 | 79,837千円 |
| 3. 特別利益の主要項目 | | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 252千円 | -千円 | 252千円 |
| 投資有価証券売却益 | 1,351千円 | 3,779千円 | 2,205千円 |
| 固定資産売却益 | 5,470千円 | -千円 | 59,520千円 |
| 4. 特別損失の主要項目 | | | |
| 固定資産廃却損 | 18,867千円 | 30,017千円 | 49,867千円 |
| 投資有価証券売却損 | -千円 | -千円 | 4,400千円 |
| 役員退任慰労金 | 16,537千円 | -千円 | 16,537千円 |
| 土地評価損 | -千円 | -千円 | 37,200千円 |
| 土地減損損失 | -千円 | 139,650千円 | -千円 |
| 会員権評価損 | -千円 | -千円 | 28,249千円 |
| 5. 減価償却実施額 | | | |
| 有形固定資産 | 308,491千円 | 303,348千円 | 617,249千円 |
| 無形固定資産 | 35,432千円 | 1,584千円 | 105,821千円 |
| 6. 固定資産廃却損の内訳 | | | |
| 建物 | -千円 | -千円 | 4,152千円 |
| 構築物 | -千円 | 10,749千円 | 439千円 |
| 機械及び装置 | 18,867千円 | 19,024千円 | 40,098千円 |
| 車両及び運搬具 | -千円 | -千円 | 9千円 |
| 工具器具及び備品 | -千円 | 243千円 | 2,280千円 |
| 温泉権 | -千円 | -千円 | 2,887千円 |

キャッシュフロー計算書の注記

| 1. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高と中間貸借対照表(貸借対照表)に掲記されている科目の金額との関係 | 平成15年9月中間期 | 平成16年9月中間期 | 平成16年3月期 |
|---|------------|------------|----------|
| | 千円 | 千円 | 千円 |
| 現金及び預金勘定 | 295,568 | 715,926 | 298,892 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 25,000 | 25,000 | 25,000 |
| 現金及び現金同等物 | 270,568 | 690,926 | 273,892 |

比較生産実績

(単位:トン)

| 期 別 | 前中間会計期間 | 当中間会計期間 | 前事業年度 |
|-------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| | 〔自 平成15年4月 1日〕 〔至 平成15年9月30日〕 | 〔自 平成16年4月 1日〕 〔至 平成16年9月30日〕 | 〔自 平成15年4月 1日〕 〔至 平成16年3月31日〕 |
| 品 種 別 | 数 量 | 数 量 | 数 量 |
| 鋼 材 | 69,963 | 91,484 | 158,144 |
| ピ レット | 128,813 | 130,985 | 263,804 |
| 合 計 | 198,776 | 222,470 | 421,949 |

比較販売実績

(単位:トン、千円)

| 期 別 | 前中間会計期間 | | 当中間会計期間 | | 前事業年度 | |
|--------|----------------------------------|-------------|----------------------------------|-------------|----------------------------------|-------------|
| | 〔自 平成15年4月 1日〕 〔至 平成15年9月30日〕 | | 〔自 平成16年4月 1日〕 〔至 平成16年9月30日〕 | | 〔自 平成15年4月 1日〕 〔至 平成16年3月31日〕 | |
| 品 種 別 | 数 量 | 金 額 | 数 量 | 金 額 | 数 量 | 金 額 |
| 鋼 材 | 74,083 | 3,100,921 | 99,245 | 5,950,071 | 168,196 | 7,581,471 |
| (うち輸出) | (2,214) | (71,623) | (1,492) | (75,348) | (2,214) | (71,623) |
| ピ レット | 62,593 | 1,768,773 | 41,461 | 1,650,366 | 109,817 | 3,334,776 |
| (うち輸出) | (62,593) | (1,768,773) | (41,461) | (1,650,366) | (109,817) | (3,334,776) |
| そ の 他 | - | 2,606 | - | 2,217 | - | 6,665 |
| 合 計 | - | 4,872,301 | - | 7,602,655 | - | 10,922,914 |
| (うち輸出) | - | (1,840,396) | - | (1,725,715) | - | (3,406,400) |

有価証券の時価等

(前中間会計期間) (平成15年9月30日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:千円)

| | 取得原価 | 中間貸借対照表計上額 | 差額 |
|-----|--------|------------|-------|
| 株 式 | 12,265 | 13,316 | 1,051 |
| 合 計 | 12,265 | 13,316 | 1,051 |

2. 時価評価されていない有価証券

(単位:千円)

| 主な内容 | 前中間期末 (平成15年9月30日) |
|-----------------------------|-----------------------|
| | 中間貸借対照表計上額 |
| その他有価証券 非上場株式(店頭売買株式を除く) | 9,548 |

(当中間会計期間) (平成16年9月30日現在)

1. 時価評価されていない有価証券

(単位:千円)

| 主な内容 | 当中間期末 (平成16年9月30日) |
|-----------------------------|-----------------------|
| | 中間貸借対照表計上額 |
| その他有価証券 非上場株式(店頭売買株式を除く) | 8,265 |

(前事業年度) (平成16年3月31日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:千円)

| | 取得原価 | 貸借対照表計上額 | 差額 |
|-----|-------|----------|-------|
| 株 式 | 9,498 | 15,727 | 6,229 |
| 合 計 | 9,498 | 15,727 | 6,229 |

2. 時価評価されていない有価証券

(単位:千円)

| 主な内容 | 前期末 (平成16年3月31日) |
|-----------------------------|---------------------|
| | 貸借対照表計上額 |
| その他有価証券 非上場株式(店頭売買株式を除く) | 8,265 |

デリバティブ取引の契約額等、時価および評価損益

該当事項はありません。